

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書		令和 7 年 6 月 2 7 日
豊橋市長 殿		
提出者		
住所 名古屋市中村区亀島一丁目4番12号		
シーエヌ建設株式会社		
氏名 代表取締役 井上 陽一		
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)		
電話番号 052-451-4510		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	シーエヌ建設株式会社 新幹線豊橋軌道事務所	
事業場の所在地	豊橋市菰口町 3 丁目 9 8 番地	
計画期間	2 0 2 5 年 4 月 1 日 ～ 2 0 2 6 年 3 月 3 1 日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	0 6 : 総合工事業	
② 事業の規模	当該事業所の完成工事高 1 9 7 , 2 4 4 万円	
③ 従業員数	2 1 人	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類 → 再生処理業者に委託し建設材料として再資源化 廃プラスチック類 → 再生処理業者に委託し原料・材料として再資源化 木くず → 再生処理業者に委託し建設材料として再資源化	

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社契約管理部総括責任者 ↓ 本社契約管理部計画責任者 ↓ → 各部門計画責任者（各部門の担当部長又は次長） ↓ → 各工事管理責任者（事業所長・工事所長・軌道事務所長）			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	別紙のとおり	
		t	t
		(これまでに実施した取組)	
		発注者、下請業者と事前に産業廃棄物発生量の削減について打合せをし実施	
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	別紙のとおり	
		t	t
		(今後実施する予定の取組)	
		発注者、下請負者と事前に産業廃棄物発生量の削減について打合せをし実施をする	
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	排出する全ての産業廃棄物については、分別の徹底を図っている		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	今後も継続してがれき類については、建設資材として再資源化を促進できるように努める		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量		t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
発注者、下請負者と事前に、産業廃棄物発生量削減について打合せをし、産業廃棄物の処理能力がある業者に委託している				

(第5面)

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量		t
				別紙のとおり
		優良認定処理業者への処理委託量		t
		再生利用業者への処理委託量		t
		認定熱回収業者への処理委託量		t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
		(今後実施する予定の取組)		
	昨年度と同様に発注者、下請負者と事前に打合せをし、産業廃棄物の処理能力のある業者に委託をする			
※事務処理欄				

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

令和6年度の産業廃棄物発生量及び令和7年度の目標

(單位：t/年)

[illegible]

様式第二号の八（第八条の四の五関係）
(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
7年 6月 25日	
豊橋市長 殿	
提出者	
住所 愛知県豊橋市東森岡1丁目8番地の1	
氏名 中採工事株式会社 代表取締役 村雲 靖	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0532-88-4858	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	中採工事株式会社
事業場の所在地	愛知県豊橋市東森岡1丁目8番地の 1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	0 6 : 総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 : 33359万円
③ 従業員数	26人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	道路舗装工事 : がれき類 アスガラ→再生処理業者に委託しRC碎石として再資源化 コンクリートガラ→再生処理業者に委託しRC碎石として再資源化

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
社長(廃棄物処理総括責任者) 工事現場管理責任者(産業廃棄物管理責任者)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスガラ	コンクリートガラ
	排出量	4,989	378
	(これまでに実施した取組) ガラ運搬時に少量での運搬を避け、過積載とならない範囲で運搬の工数を減らし、CO2排出を減らす。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスガラ	コンクリートガラ
	排出量	5,000 t	1,000 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	アスガラ	コンクリートガラ	
	全処理委託量	4989 t	379 t	
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	4989 t	379 t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
①現状	【前年度（ 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t	
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t	
	(今後実施する予定の取組)				
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状	【前年度（ 6年度）実績】				
	産業廃棄物の種類		汚泥		
	全処理委託量		1 t	t	
		優良認定処理業者への処理委託量		t	t
		再生利用業者への処理委託量		1 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量		t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
	(これまでに実施した取組)				

(第5面)

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		アスガラ	コンクリートガラ
		全処理委託量		5,000 t	1,000 t
			優良認定処理業者への処理委託量	t	t
			再生利用業者への処理委託量	5,000 t	1,000 t
			認定熱回収業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組)			
		特になし			
	※事務処理欄				

(第5面)

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		汚泥
		全処理委託量		6 t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	
		再生利用業者への処理委託量	6 t	
		認定熱回収業者への処理委託量	t	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	
		(今後実施する予定の取組)		
		特になし		
	※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書		令和 7年 6月 27日
豊橋市長 殿		
提出者		
住所 愛知県豊橋市野田町字野田10-3		
氏名 株式会社 みかわ屋		
代表取締役 牧野 卓己		
電話番号 0532-31-2563		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	豊橋市管轄内事業場	
事業場の所在地	豊橋市管轄区域内	
計画期間	令和 7年 4月 1日 ～ 令和 8年 3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	D06：総合工事業	
② 事業の規模	元請完成工事高：8,500万円	
③ 従業員数	8人	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	建築物解体・建設工事 廃プラスチック類→中間処理業者に委託して選別後埋立処分 木くず→再生処理業者に委託してチップとして再資源化 繊維くず→再生処理業者に委託してチップとして再資源化 ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず→中間処理業者に委託して破碎後埋立処分 がれき類→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化 混合廃棄物→中間処理業者に委託して選別後埋立処分 管理型混合廃棄物→中間処理業者に委託して選別後埋立処分 石綿含有(がれき類)→最終処理業者に委託して埋立処分	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社 ↓ 環境管理責任者 ↓ 工事現場管理責任者(産業廃棄物担当者)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表の通り	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・分別解体の実施、適正産廃処理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表の通り	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状維持		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック類、木くず、繊維くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、混合廃棄物、管理型混合廃棄物、石綿含有廃棄物にそれぞれ分別		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特に実施する予定はない		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特に実施する予定はない		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（令和6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施していない			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施する予定はない			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類		別表の通り	
	全処理委託量		t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い最終処分量の低減をはかる			

(第5面)

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		別表の通り
		全処理委託量		t
			優良認定処理業者への処理委託量	t
			再生利用業者への処理委託量	t
			認定熱回収業者への処理委託量	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
		(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者を選定する ・現状維持		
	※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

令和6年度の産業廃棄物発生量及び令和7年度の目標

(單位：t/年)

項目		産業廃棄物の種類 (名称)		廃プラスチック類	木くず	繊維くず	ガラスくず、 コンクリートく ず及び陶磁器く	がれき類	混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	合計
											がれき類	
R6年度 の 実績	R6年度の産業廃棄物発生量	16,200	461,300	5,000	21,500	1919,200	33,100	1,500	20,700			2478,50
	①自ら再生利用した量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		0.00
	②自ら熱回収を行った量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		0.00
	③自ら中間処理により減量した量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		0.00
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		0.000
	⑤全処理委託量	16,200	461,300	5,000	21,500	1919,200	33,100	1,500	20,700			2478,500
	⑥優良認定処理業者への処理委託量	4,400	197,600	0.000	0.000	102,800	0.000	0.000	20,700			325.50
	⑦再利用者への処理委託量	0.000	461,300	5,000	0.000	1588,700	0.000	0.000	0.000			2055.00
	⑧認定熱回収業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000			0.00
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000			0.00
R7年度 の 目標	R7年度の産業廃棄物発生量	15,000	450,000	3,000	20,000	1900,000	25,000	0.500	20,000			2433.50
	①自ら再生利用した量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		0.00
	②自ら熱回収を行った量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		0.00
	③自ら中間処理により減量した量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		0.00
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		0.00
	⑤全処理委託量	15,000	450,000	3,000	20,000	1900,000	25,000	0.500	20,000			2433.50
	⑥優良認定処理業者への処理委託量	15,000	200,000	0.000	0.000	110,000	0.000	0.500	20,000			345.50
	⑦再利用者への処理委託量	0.000	290,000	3,000	0.000	1890,000	0.000	0.000	0.000			2183.00
	⑧認定熱回収業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000			0.00
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000			0.00

様式第二号の八(第八条の四の五関係)
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年 6月28日	
豊橋市長 殿	
提出者	
住所 愛知県豊橋市大岩町字西荒田48番地6	
氏名 株式会社 M&S解体工業	
代表取締役 ハサンオウルシナン	
電話番号 0532-21-8271	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 M&S解体工業
事業場の所在地	愛知県豊橋市大岩町字西荒田48番地6 愛知県内各事業場
計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	07 職別工事業
② 事業の規模	完成工事高：1億6349万円
③ 従業員数	11人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事： 木くずは再生処理業者に委託しチップとして再資源化 がれき類は再生処理業者に委託し、再製砕石として再資源化 廃プラスチック類は再生処理業者に委託し、燃料・建材材料等として再資源化 混合物は中間処理業者に委託選別し、再資源化 金属くずは再生処理業者に委託し再資源化 紙くず、繊維くずは中間処理業者に委託して再資源化 石綿含有廃棄物は優良認定処理業者に委託し安定処理

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役



産業廃棄物処理管理責任者



工事現場管理者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 工事現場内での産業廃棄物分別の徹底		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状維持		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別しにくいものは混合として処理委託しているが、容易に分別できるものは徹底して分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前年度の取り組みを継続する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類		別紙のとおり	
	全処理委託量		t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)			

(第5面)

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

現状: 前年度(令和6年度)の実績量

計画: 今年度(令和7年度)の計画量

単位: トン

産業廃棄物の種類	排出量		処理委託					
	実績	計画	全処理委託量		優良認定処理業者		再生利用業者	
	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画
廃プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス陶磁器等くず	77.59	70	77.59	70	77.59	70	0	0
コンクリートがら	965.58	950	965.58	950	0	0	965.58	950
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	410.13	400	410.13	400	170.07	200	240.06	200
繊維くず	2.12	1	2.12	1	0	0	2.12	1
廃石膏ボード	11.13	10	11.13	10	0	0	11.13	10
石綿含有産業廃棄物	45.92	40	45.92	40	45.92	40	0	0
混合	46.01	40	46.01	40	0	0	46.01	40
合計	1558.48	1511	1558.48	1511	293.58	310	1264.9	1201

様式第二号の八（第八条の四の五関係）
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
R7 年 6 月 27 日	
豊橋市長 殿	
提出者 有限会社 増田ファーム	
住所 愛知県豊橋市天伯町東沢100-2	
氏名 代表取締役 増田憲一	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0532-47-3425	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	有限会社 増田ファーム
事業場の所在地	豊橋市天伯町東沢100-2
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	01 農業
② 事業の規模	母豚800頭（子とり）
③ 従業員数	8名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	畜舎の糞→コンポストに入れ堆肥 畜舎の尿→自社の浄化槽 動物の死体→委託業者

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 代表取締役社長 (統括責任者) 専務 (実務担当者)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (令和 6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排出量	3, 008 t	3 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排出量	3, 008 t	3 t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1, 100 t	t
	(これまでに実施した取組) コンポストに入れた糞を処理して堆肥に		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1, 100 t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1, 532 t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1, 532 t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類		動物の死体	
	全処理委託量		0 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)			

(第5面)

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		動物の死体
		全処理委託量		3 t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	
		再生利用業者への処理委託量	t	
		認定熱回収業者への処理委託量	t	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	
		(今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

〇〇年度の産業廃棄物発生量及び〇〇年度の目標

(単位：t/年)

項目		産業廃棄物の種類 (名称)								合計
〇 年 度 の 実 績	〇〇年度の産業廃棄物発生量									
	①自ら再生利用した量									
	②自ら熱回収を行った量(t/年)									
	③自ら中間処理により減量した量									
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量									
	⑤全処理委託量									
	⑥優良認定処理業者への処理委託量									
	⑦再利用業者への処理委託量									
	⑧認定熱回収業者への処理委託量									
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
〇 年 度 の 目 標	〇〇年度の産業廃棄物発生量									
	①自ら再生利用した量									
	②自ら熱回収を行った量(t/年)									
	③自ら中間処理により減量した量									
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量									
	⑤全処理委託量									
	⑥優良認定処理業者への処理委託量									
	⑦再利用業者への処理委託量									
	⑧認定熱回収業者への処理委託量									
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									